

平成29年度第2回大和市消防運営審議会 次第

平成30年2月28日（水）

午後1時55分から午後3時

消防本部3階 第一会議室及び講堂

出席委員：近藤委員、井上委員、石井委員、富澤委員、新井委員、清水委員
小菅委員、大崎委員、伊藤委員（9名）

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 消防長あいさつ

4. 議題

(1) 平成29年度主要事業の実施状況について
質疑なし。

5. その他

(1) 平成29年（1月～12月）の大和市災害概要（速報値）について

委員：火災件数が、28年と29年を比較すると増加しているとのことだが、主な原因を教えてください。最近の住宅は耐火性能などが向上しており、火災の予防も可能と考えるがいかがか。

消防長：ご指摘のとおり、19件増加している。そのほとんどが放火によるものである。

委員：治安等が悪化してきているということか。

消防長：残念ながら、放火に関する犯人の検挙等についての情報は警察から提供されていないため、治安の悪化については不明である。火災が増加している要因の中でも、自宅への放火や自身への火付けということが発生しており、それが増加の主な要因となっている。

会長：3年ほど、運営審議会に携わっているが、歴年の報告をみても火災の原因として最も多いのが放火である。やはり放火を防ぐには家の周りに可燃物を置かないことが第一である。委員のみなさんも自治会等で周知していただけるとありがたい。

(2) 消防車両の更新について

委員：説明のあった、更新車両が全て日産自動車製であるが、何か縛りがあるのか。

警防課長：車両の更新は、全て一般競争入札で行っているため、特段の縛りはありません。

(3) 大和市少年消防団の概要について

質疑なし。

(4) 救急救命課事業報告について

委員：命の授業を市内の小中学校11校、中学校7校に実施した実績報告であるが、順番に回っているのか。

救急救命課長：全ての小中学校に毎年依頼しているが、授業中に命の授業を実施するため、各学校のカリキュラムの関係で実施できない場合もある。また、隔年で開催している学校もあるため、年度内に市内全ての小中学校で実施できているわけではない。ただ、命の授業を開催したことがない小中学校は存在しない。

(5) 初期消火用資機材整備事業について

質疑なし。

(6) 指令課電柱検索アプリの導入について

会長：通報が約15,000件とのことであり、7,000件が携帯電話からの通報とのことです。携帯電話は便利ではありますが、携帯電話で通報すると、位置の特定に時間がかかるとのことです。自宅で通報する際、固定電話から通報すれば特定はスムーズになる。やむを得ず携帯電話で通報する場合は、近くの電柱の番号を知らせることでスムーズに位置の特定ができ、消防隊や救急隊の到着が迅速になるとのことです。是非、自治会や周りの方にそうした情報をお伝えいただけるよう、お願いいたします。

(7) その他

6. 閉会

※閉会后、講堂にて、平成29年度に導入したドローンの実機及び模擬演技の見学。
次ページを参照



警防課長によるドローンの概要説明①



警防課長によるドローンの概要説明②



ドローンの撮影画像の転送風景見学



ドローンの離陸場面



警防課職員によるドローン操作場面



ファットバイクとドローン